



今年度のESDの重点目標（取組）

- ・個人の尊厳を大切にする学習（人権集会など）
- ・「すべき」から「したい」への学習（職業講演会・食品回収など）

【令和5年度 ESD 実践報告】

01 個人の尊厳を大切にする学習（人権集会など）



本校は「すべき」から「したい」へ、個人の尊厳を大切にする大和田中学校を目指している。2年生を中心に人権集会など人権に関する学習を進めた。今年度は5月11日（木）に船橋市立行田中学校 教諭 永井 恵先生をお迎えしてLGBTQについてお話を頂いた。講演の中で、「身体の性」「心の性」「好きになる性」「表現する性」の4つの性があることや、私たちが「ふつう」と感じていることがもたらす落とし穴などについてもお話を頂いた。「人権」とは「人間が人間らしく生きる権利である」ということを再確認した。「正しい判断をするためには学ぶことである」ということが強く心に残った集会となった。

また令和6年能登半島地震で被災された方々に何かできないかを考え、生徒会を中心に石川県に義援金を贈る活動をした。多くの方々の温かい心遣いに触れることができ、生徒会のスローガンである「Share Happiness」の輪を、広げることができた。



02 「すべき」から「したい」への学習（職業講演会・食品回収など）



6月21日（水）～6月27日（火）に2023 八千代子どもサミットの「広げよう、八千代から」の活動でおこなわれたフードバンクへの食品回収の活動に生徒会を中心に参加した。賞味期限が2か月以上ある食品の寄付を呼びかけ、世界の食糧事情を調べたり、自分たちができることは何かを考えたりした活動となった。

また12月6日（水）に保護者の皆様の協力を得て、地域の様々な職業に就く方々17名をお招きして講演会を開催した。自衛官や音楽家、美容師、看護師、CA、パン屋さんなど様々な職業の方々から、やりがいや働くことの厳しさなどの職業観についてご講演して頂いた。実際に働く方々からの専門的な内容を学ぶことができた。

